

# NAT を使用せずにルータのモードコンフィギュレーション、ワイルドカード事前共有キーを設定する方法

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## はじめに

この設定例では、ルータは、モード設定（プールから IP アドレスを取得）、ワイルドカード、事前共有キー（すべての PC のクライアントが共通のキーを共有）で、またネットワーク アドレス変換（NAT）なしに設定されています。オフサイト ユーザは、ネットワークを開始し、プールから内部 IP アドレスを割り当てられます。ユーザには、自分がネットワーク内に見えるように見えます。ネットワーク内のデバイスは、ルーティング不可能な 10.2.1.x プールへのルートによって設定されます。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco IOS® ソフトウェア 12.0.7T またはそれ以降
- このソフトウェアリビジョンをサポートするハードウェア
- CiscoSecure VPN クライアント 1.0/1.0.A か 1.1（、それぞれ、チェックするために Help > About の順に進んで下さい 2.0.7/E か 2.1.12 として示されていて）

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注: このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

## ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。

## 設定

このドキュメントでは、次の設定を使用します。

- VPN クライアント
- ルータ

```
VPN クライアント

Network Security policy:

1- Myconn
  My Identity = ip address
    Connection security: Secure
    Remote Party Identity and addressing
      ID Type: IP subnet
      88.88.88.0
      Port all Protocol all

    Connect using secure tunnel
      ID Type: IP address
      99.99.99.1
      Pre-shared key = cisco123

  Authentication (Phase 1)
  Proposal 1
    Authentication method: pre-shared key
    Encryp Alg: DES
    Hash Alg: MD5
    SA life: Unspecified
    Key Group: DH 1

  Key exchange (Phase 2)
  Proposal 1
```

```
Encapsulation ESP
Encrypt Alg: DES
Hash Alg: MD5
Encap: tunnel
SA life: Unspecified
no AH
```

## 2- Other Connections

```
Connection security: Non-secure
Local Network Interface
Name: Any
IP Addr: Any
Port: All
```

## ルータ

```
version 12.0
service timestamps debug uptime
service timestamps log uptime
no service password-encryption
!
hostname router
!
enable password ww
!
username cisco password 0 cisco
!
clock timezone EST -5
ip subnet-zero
cns event-service server
!
crypto isakmp policy 1
  hash md5
  authentication pre-share
crypto isakmp key cisco123 address 0.0.0.0
crypto isakmp client configuration address-pool local
ourpool
!
crypto ipsec transform-set trans1 esp-des esp-md5-hmac
!
crypto dynamic-map dynmap 10
  set transform-set trans1
crypto map intmap client configuration address initiate
crypto map intmap client configuration address respond
crypto map intmap 10 ipsec-isakmp dynamic dynmap
!
interface Ethernet0

  ip address 99.99.99.1 255.255.255.0
  no ip directed-broadcast
  no ip route-cache
  no ip mroute-cache

  crypto map intmap
!
interface Ethernet1
  ip address 88.88.88.1 255.255.255.0
  no ip directed-broadcast
!
```

```
ip local pool ourpool 10.2.1.1 10.2.1.254
ip classless
no ip http server
!
line con 0
  exec-timeout 0 0
  transport input none
line aux 0
line vty 0 4
  password ww
  login
!
end
```

## 確認

このセクションでは、設定が正常に動作しているかどうかを確認する際に役立つ情報を提供しています。

特定の **show** コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) によってサポートされています。このツールを使用すると、**show** コマンド出力の分析を表示できます。

- **show crypto engine connections active** - 暗号化パケットおよび復号化パケットを表示します。
  - **show crypto ipsec sa** : フェーズ 2 のセキュリティ アソシエーションを表示します。
  - **show crypto isakmp sa** : フェーズ 1 のセキュリティ アソシエーションを表示します。
- これらのデバッグは両方の IPSec ルータ ( ピア ) で動作したにちがいありません。 両方のピアで、セキュリティ アソシエーションをクリアする必要があります。
- **debug crypto ipsec** : フェーズ 2 の IPSec ネゴシエーションを表示します。
  - **debug crypto isakmp** — フェーズ 1 の ISAKMP ネゴシエーションを示します。
  - **debug crypto engine** : 暗号化されたトラフィックを表示します。
  - **clear crypto isakmp** : フェーズ 1 に関連したセキュリティ アソシエーションをクリアします。
  - **clear crypto sa** : フェーズ 2 に関連したセキュリティ アソシエーションをクリアします。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- [VPN 3000 シリーズ: コンセントレータ製品サポート](#)
- [Cisco VPN 3000 クライアント製品に関するサポート ページ](#)
- [IPSec \( IPセキュリティプロトコル \) 技術サポート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)